

## 第3期しあわせ実感かかみかはら人口ビジョン・総合戦略（素案）修正箇所一覧

通番	頁	章	大項目	中項目	小項目	修正前	修正後	備考
1	1	人口ビジョン	1.策定の趣旨	(1)策定の趣旨	—	人口減少・少子高齢化社会が到来する中、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正することなどを旨とし、平成26（2014）年にまち・ひと・しごと創生法が制定されるとともに、国の人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。	人口減少・少子高齢化社会が到来する中、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正することなどを旨とし、平成26（2014）年にまち・ひと・しごと創生法が制定され、国の人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定された。	「～ともに」が文章中に重複していたため修正した。
2	1	人口ビジョン	1.策定の趣旨	(1)策定の趣旨	—	今回、新たに人口ビジョンと総合戦略を一体として「第3期しあわせ実感かかみかはら人口ビジョン・総合戦略」を策定するにあたり、総合戦略策定の基礎資料となる人口ビジョンについて、令和2（2020）年国勢調査の結果や、各種統計等の最新のデータ等を踏まえ、各種数値の更新、それに伴う記述の変更、一部記載内容の見直しを行った。	「第3期しあわせ実感かかみかはら人口ビジョン・総合戦略」を策定するにあたり、総合戦略策定の基礎資料となる人口ビジョンについて、令和2（2020）年国勢調査の結果や、各種統計等の最新のデータ等を踏まえ、各種数値の更新、それに伴う記述の変更、一部記載内容の見直しを行った。	1行目では「総合戦略」と「人口ビジョン」は「一体」として策定すると記載しているが、その後の説明では、それぞれの計画は別のものという説明になっていたため、文章を修正した。
3	2～21	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	—	—	※グラフの説明は、各グラフの上に記載するよう統一した。	グラフに関する説明の位置が、ページ上部にまとめられているものと、各グラフの上に記載しているものとが混在していたため、記載箇所を統一した。
4	2～21	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	—	—	※一定のまとまりごとに、項目のタイトルを追加した。 (P4【国籍別人口】、P5【国籍別在留外国人】、P6【平均寿命】、P7【年齢別人口総数】、P12【生涯未婚率】、P13【平均初婚年齢】、P14【初産の平均年齢】、P16【移動理由別転入転出差】、P18【市町村間の流入・流出】、P20【産業別従事者割合】、P21【製造業の産業中分類従業者数・事業所数】)	項目ごとにタイトルが付けられているものと、付けられていないものとが混在していたため、項目のタイトルを記載することに統一した。
5	5	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	国籍別在留外国人の推移	2023年 在留外国人数 合計2,027人	2023年 在留外国人数 合計3,965人	グラフの数値に誤りがあったため修正した。
6	9	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	日本人住民の自然増減数、社会増減数の推移	・日本人住民は、平成23（2011）年度にかけて増減を繰り返しながら、概ね増減数は増加で推移してきたが、平成24（2012）年度以降は減少で推移しており、近年は自然減が進んでいる。	・日本人住民は、平成23（2011）年度にかけて、概ね増加で推移してきたが、平成24（2012）年度以降は減少で推移しており、近年は自然減が進んでいる。	「増減を繰り返しながら、概ね増減数は増加で推移」という読みづらい文章となっていたため、修正した。
7	9	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	外国人住民の自然増減数、社会増減数の推移	・2012年度以前は4月1日から3月31日までの間、2013年以降は1月1日から12月31日までの間の人口動態自然増減数は、調査期間中における、出生者数から死亡者数を減じた数。	・2012年度以前は4月1日から3月31日までの間、2013年以降は1月1日から12月31日までの間の人口動態 ・自然増減数は、調査期間中における、出生者数から死亡者数を減じた数	グラフの解説について、適切に改行がされていないため修正した。
8	9	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	外国人住民の自然増減数、社会増減数の推移	・社会増減数は、調査期間中における、転入者数及びその他記載数の合計から転出者数及びその他消除数の合計を減じた数	・社会増減数は、調査期間中における、転入者数及びその他記載数（帰化、住所設定、職権回復、転出取消、職権記載）の合計から転出者数及びその他消除数（国籍喪失、職権消除）の合計を減じた数	グラフの解説について、社会増減の算定方法に関する説明を追加した。
9	10	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	合計特殊出生率	・自然動態について、合計特殊出生率は平成27（2015）年まで上昇傾向にあったが、平成28（2016）年から令和2（2020）年まで下降傾向となり、令和3（2021）年に上昇に転じたもの、令和4（2022）年には再び減少している。	・自然動態について、合計特殊出生率は平成27（2015）年まで上昇傾向にあったが、平成28（2016）年から令和2（2020）年まで下降傾向となり、令和3（2021）年に上昇に転じたものの、令和4（2022）年には再び減少している。	誤字を修正した。
10	11	人口ビジョン	2.各務原市の人口動向分析	(1)人口動向分析	自然動態（出生・死亡）の推移	2023年 データなし	2023年 出生：867、死亡：1,723	市の統計データより、数値を追加した。

通番	頁	章	大項目	中項目	小項目	修正前	修正後	備考
11	13	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	平均初婚年齢	・男性では、平成27(2015)年から平成30(2018)年にかけて上げ止まりの状況にあったが、令和元(2019)年以降低下し、令和4(2022)年に上昇に転じている。一方、女性では、平成24(2012)年にピークに達し、その後は上昇と低下を繰り返しながら推移し、令和4(2022)年に再び低下に転じている。	・男性では、平成27(2015)年にピークとなり、その後は概ね横ばいで推移した後、令和元(2019)年以降低下傾向にある。女性では、平成24(2012)年にピークに達し、その後は概ね横ばいで推移している。	グラフの説明について、わずかな増減については「概ね横ばい」と文章を修正した。
12	13	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	平均初婚年齢	・岐阜県では、男女ともに平成25(2013)年まで上昇傾向で、平成26(2014)年以降は低下している。また、全国では、男女ともに平成26(2014)年まで上昇傾向で、平成30(2018)年まで横ばいで推移し、令和元(2019)年に上昇した後、令和2(2020)年に再び低下したが、令和4(2022)年にかけて上昇している。	・岐阜県では、男女ともに平成25(2013)年まで上昇傾向で、その後は概ね横ばいで推移している。また、全国においても、男女ともに平成26(2014)年まで上昇傾向で、その後は概ね横ばいで推移している。	グラフの説明について、わずかな増減については「概ね横ばい」と文章を修正した。
13	14	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	初産の平均年齢	・初産の平均年齢は、令和4(2022)年には男性で32.2歳、女性で30.0歳となっている。父では、上昇と低下を繰り返しながら少しずつ上昇していたが、令和3(2021)年から低下している。母では、平成27(2015)年までは上昇と低下を繰り返しながら上昇していたが、平成28(2016)年から平成29(2017)年にかけて大きく落ち込んだ後、平成30(2018)年に上昇、令和3(2021)年にかけて横ばいに推移し、令和4(2022)年には再び低下している。 ・岐阜県では、男性は、平成29(2017)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。女性は、平成28(2016)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。 ・全国では、男性は、平成28(2016)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移し、令和3(2021)年に上昇している。女性も男性と同様の傾向で、平成27(2015)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移し、令和3(2021)年に上昇している。	・初産の平均年齢は、令和4(2022)年に父は32.2歳、母は30.0歳となっている。父は、平成25(2013)年までは上昇傾向にあったが、それ以降は概ね横ばいで推移している。母は、平成27(2015)年までは上昇傾向にあったが、それ以降は概ね横ばいで推移している。 ・岐阜県では、父は、平成29(2017)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。母も同様に、平成28(2016)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。 ・全国では、父は、平成28(2016)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。母も同様に、平成27(2015)年まで上昇傾向にあったが、その後は概ね横ばいで推移している。	グラフの説明について、わずかな増減については「概ね横ばい」と文章を修正した。 「父・母」と「男性・女性」が混在していたが、データの出典(厚生労働省「人口動態統計」)に合わせ、「父・母」に記載を統一した。
14	15	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	社会動態(転入・ 転出)の推移	2023年 データなし	2023年 転入:5,245、転出:5,196	市の統計データより、数値を追加した。
15	16	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	主な移動理由別 転入転出差	○グラフのタイトル 主な移動理由別転入転出差(令和元(2019)~令和5(2023)年の累計)	○グラフのタイトル 主な移動理由別転入転出差(日本人)(令和元(2019)年~令和5(2023)年の累計)	データに外国人は含まれないため、グラフのタイトルにその旨を明記した。
16	17	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	昼夜間人口の推移	—	※昼夜間人口の推移(男女別)のグラフと、その説明を追加した。	男女別で傾向の違いがみられたため、グラフ及びその説明を追加した。
17	20	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	産業別従事者割合	—	※円グラフ内の文字サイズを拡大した。	円グラフ内の文字サイズが小さく読みづかったため、文字サイズを拡大した。
18	21	人口 ビジョン	2.各務原市の 人口動向分析	(1)人口動向分析	製造業の産業中分類 従業者数・事業所数	—	※グラフ横軸の文字の向きを縦書きに修正した。	グラフ横軸の文字の向きを修正した。
19	27	人口 ビジョン	4.人口の将来 展望	(1)人口の将来 展望に関連する 意識調査・分析	①まちづくりに関する 市民意識調査	○定住意向について ・将来、各務原市に住み続けたいと思うかについて、「わからない」が32.9%と最も高く、次いで「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が32.7%となっています。 ・前回調査(平成30年)に比べ、「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が高くなっています。 ・性別について、男性、女性ともに「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が最も高く、次いで「わからない」が高くなっています。 ・学年別について、中学生は「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」、高校生は「わからない」が最も高くなっています。	○定住意向について ・将来、各務原市に住み続けたいと思うかについて、「わからない」が32.9%と最も高く、次いで「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が32.7%となっています。 ・前回調査(平成30年)に比べ、「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が高くなっています。 ・性別について、男性、女性ともに「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」が最も高く、次いで「わからない」が高くなっています。 ・学年別について、中学生は「一度市外に出て、また各務原市に戻ってきたい」、高校生は「わからない」が最も高くなっています。	「です・ます調」となっていたため「だ・である調」に統一した。

通番	頁	章	大項目	中項目	小項目	修正前	修正後	備考
20	28	人口ビジョン	4.人口の将来展望	(1)人口の将来展望に関連する意識調査・分析	①まちづくりに関する市民意識調査	○人口減少対策について ・各務原市の人口減少について、「人口減少は望ましくない」が61.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.8%となっており、前回調査（平成30年調査）と同様の傾向となっています。 ・性別について、男女ともに「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。また、男性は女性よりも「人口減少は望ましくない」が高くなっています。 ・年齢別について、全年代で「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。 ・地区別について、全ての地区で「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。	○人口減少対策について ・各務原市の人口減少について、「人口減少は望ましくない」が61.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.8%となっており、前回調査（平成30年調査）と同様の傾向となっています。 ・性別について、男女ともに「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。また、男性は女性よりも「人口減少は望ましくない」が高くなっています。 ・年齢別について、全年代で「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。 ・地区別について、全ての地区で「人口減少は望ましくない」が最も高くなっています。	「です・ます調」となっていたため「だ・である調」に統一した。
21	41	総合戦略	5.基本方針	(1)国の基本的な考え方	—	—	令和6年11月には、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき、地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、内閣に、新しい地方経済・生活環境創生本部が設置され、今後10年間集中的に取り組む「基本構想」の策定に向けた議論が進められることとなった。国は、「地方創生」を10年前に開始して以降、「まち・ひと・しごと創生法」の制定、政府関係機関の地方移転や地方創生の交付金などにより、全国各地で地方創生の取組が行われ、様々な好事例が生まれた一方、こうした好事例が次々に「普遍化」することはなく、人口減少や、東京圏への一極集中の流れを変えるまでには至らなかった反省を踏まえ、次の10年を見据えた「地方創生2.0」を起動し、この国の在り方、文化、教育、社会を変革する大きな流れをつくり出すことを目指すこととしている。	令和6年12月24日に国から示された「地方創生2.0の「基本的な考え方」」に関する記載を追加した。
22	42	総合戦略	5.基本方針	(2)地方創生2.0	—	—	※令和6年12月24日に国から示された「地方創生2.0の「基本的な考え方」」より、「地方創生2.0の基本構想の5本柱」を抜粋して記載した。	令和6年12月24日に国から示された「地方創生2.0の「基本的な考え方」」に関する記載を追加した。
23	47	総合戦略	7.施策体系	(1)総合戦略のメインターゲット	—	◎メインターゲット<まち><にぎわい>：中京圏在住の市外住民	◎メインターゲット<まち><にぎわい>：中京圏を中心とした市外住民	懇話会での意見を踏まえ、記載を修正した。  ○懇話会意見 ・総合戦略のメインターゲットとして、中京圏在住の市外住民と書いてあるが、おそらく今は何となく流れている方が中京圏に多いだけであって、各務原市が選ばれているわけではないと思っている。各務原市を全国から選ばれるまちにしていきたいと思っており、会社の魅力をさらに外に発信できれば、それが求人に関わり、移住に繋がると考えている。
24	47	総合戦略	7.施策体系	(1)総合戦略のメインターゲット	◎メインターゲット<まち><にぎわい>	本市の日本人住民の社会動態の推移は、2019年以降は社会減の傾向が続いている。この傾向に対して、メインターゲットを中京圏在住の市外住民と設定し、本市の魅力を高める取組の推進や、市外への情報発信の強化に取り組むことにより、本市に人の流れを作り、移住・定住者の増加による社会増を目指す。	本市の社会動態は、これまで概ね均衡しながら推移してきたものの、自然減による人口減少が進行していることから、社会増に向けた取組を一層強化するため、メインターゲットを中京圏を中心とした市外住民と設定する。本市の魅力を高める取組の推進や、市外への情報発信の強化に取り組むことにより、本市に人の流れを作り、移住・定住者の増加による社会増を目指す。	社会動態は2022年に増加しており、記載として誤っていたため、文章を修正した。
25	52~90	総合戦略	9.施策と主な取組	—	—	—	※用語解説を追加した。	総合計画の内容を基に、「施策」ごとに用語解説を追加した
26	61	総合戦略	9.施策と主な取組	戦略目標1 未来を支える「ひと」づくり	施策の柱3 教育 施策3 家庭・地域・学校の連携による教育の充実	KPI ●ふれこみ隊の活動に10回以上参加した生徒の割合 基準値(R5)：6.9%、目標値(R11)：10%	KPI ●ふれこみ隊加入者率 基準値(R5)：7.6%、目標値(R11)：8.0%	懇話会での意見を踏まえ、KPIを変更した。  ○懇話会意見 ・ふれこみ隊の指標の基準がよくわからない。10回以上活動に参加する人の指標が、基準値が6.9%で目標値が10%となっていることについて、ふれこみ隊での活動は年間どれくらいあるかわからないが、多く積極的に参加する学生の数より、平均何回という指標を設定した方がいいのではないかと。

通番	頁	章	大項目	中項目	小項目	修正前	修正後	備考
27	84	総合戦略	9.施策と主な取組	戦略目標3 魅力と安心の「まち」づくり	施策の柱2 安全・安心 施策2 良好な生活環境の整備	・電子図書館は、「いつでも、だれでも、どこでも」利用できる便利さに加え、文字の拡大や読み上げ機能などにより年齢や障がいの有無に関わらず本を読むことに有効であるため、ウェブサイトやSNSを活用した周知により、更なる利用促進に努める。	・電子図書館は、文字の拡大や読み上げ機能等により、年齢や障がいの有無に関わらず、「いつでも、だれでも、どこでも」利用できるため、ウェブサイトやSNSを活用した周知により、更なる利用促進に努める。	文章を修正した。
28	86	総合戦略	9.施策と主な取組	戦略目標4 人の流れを生み出す「にぎわい」づくり	目指す姿	・本市には、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館や河川環境楽園などの他にはない魅力ある施設や大型ショッピングモールなどが立地しており、また、それらを生かした特徴あるイベントなども開催されている。これらの魅力を市内外へ効果的に発信することにより、観光・交流による活力を生み出すとともに、人の流れを移住定住に結びつける。	・本市には、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館や河川環境楽園などの他にはない魅力ある施設や大型ショッピングモールなどが立地しており、また、それらを生かした特徴あるイベントなども開催されている。これらの魅力を市内外へ効果的に発信することにより、観光・交流による活力を生み出すとともに、人の流れを移住定住に結びつける。	誤字を修正した。
29	88	総合戦略	9.施策と主な取組	戦略目標4 人の流れを生み出す「にぎわい」づくり	施策の柱1 発信・誘客 施策2 観光資源等の活用と効果的なPR	現状と課題 3点目 ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の展示内容の充実や魅力向上のため、企画棟を活用した展示や体験型コンテンツの設置、魅力的なPRを図ることで、来館者の増加につなげる必要があります。	現状と課題 3点目 ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の展示内容の充実や魅力向上のため、企画棟を活用した展示や体験型コンテンツの設置、魅力的なPRを図ることで、来館者の増加につなげる必要がある。	「です・ます調」となっていたため「だ・である調」に統一した。